

令和2年1月31日

スタッフ各位

株式会社 徳
有限会社ノリックス・有限会社和公
代表取締役 鷺岡和徳

前略、今月も業務に専心いただきありがとうございます。

今年の1月も例年同様にどの店舗も大変忙しく、各店舗・各部署の皆様にはそれぞれの役割をしっかりと完遂いただきましたことお礼申し上げます。ベトナムホーチミンの新店もグランドオープンを迎えました。料理長の博多君、マネージャーの太田君も冬でも半袖の彼の地で頑張っています。

さて、以前に私どもの会社名にもなっている「徳」についてお話ししたことがあったと思います。

「徳」というのは一言で言えば「人が行ふべき道」「立派な行為」「善い行い」のことで「人や社会との関わりの中で相手に喜んでもらったり、プラスになることをすること」と言い換えてもいいでしょう。

しかしながらその行為（施し）は「無償」の行為でなければなりません。相手に感謝されたいからとか、してあげたという気分があってはいけないのです。また「徳」には表向きの「陽徳」と人知れず行う「陰徳」があります。「陰徳」を積むことが大切であることは言うまでもありません。

禅宗の施しの中で自分の身を捨てて人に施すという「捨身施」というものがあります。

仏教説話で、森の中にキツネとサルとウサギが仲良く住んでいました。そこに飢えのために死にそうな旅人が通りかかりました。3匹とも旅人のために食糧を探しに行きました。サルが果物を獲ってきて、キツネは魚を獲ってきました。ウサギだけ手ぶらで帰ってきて申し訳なさそうにサルに薪を取って来てくれと頼み、それを積み上げて火をつけて自分を食べてくれと言って身を投じたと言います。

一見すると、とても常人にはできない施しに見えますが決してそうではなく、例えば電車でお年寄りに席を代わってあげることや仲間の仕事を手伝ってあげることも言ってみれば捨身施なのです。仕事でも自分が自分に与えられた、または自分の選んだ道を一生懸命に頑張ること自体、そのことが「徳」を積んでいることになります。

本社に長年勤めていただいている坪田さんというパートタイマーの方がいます。ほぼ毎日会社のトイレを一人で掃除してくれます。掃除の後はピカピカで使用するのがはばかれるくらいです。仕事とはいえ皆が嫌がるトイレ掃除を人知れず心を込めてしていただいている姿にいつもありがたく感謝しています。まさにこの行為が陰徳を積むと言えるでしょう。

私も坪田さんに見習って少しでも徳を積めるよう精進したいと思います。

■インフルエンザが全国的に流行しています。手洗いの励行お願いいたします。

「私たちはお客様のために常に新しいことに挑戦し、食生活に新たな価値を創造しつづけます。」

すべては自分のために。

すべてはお客様のために。

すべては会社のために。

すべては社会のために。

来月も一緒に頑張りましょう

草々